

「国の属性とは何か」

四番 浅野 健

今回のご講義では、まず「国の属性とは何か」という宇宙都議員の間に、私がこの日本と
いう国に実際に住んでいるにもかかわらず、
平和に暮らせることが当たり前すぎて、普段
からは考えることがもなかつたとき付かされた。
属性は「領土、国民、主権」であり、特に尖
閣諸島、竹島、北方領土などが、今、近隣諸
国である中国や、韓国、ロシアなどに脅かさ
れようとしているにもかわらずである。
今こそ国民が一丸となつて、わが国の固有
の領土を死守することが必要であると感じた。
次に、「國」の成り立ちについて話された際
で、『構成の一部「戈」に主権という意味が入
つており、主権を守るためには、矛を持つこ
とが示され、祖先から守つてきたものには、
宗教観や、価値観など、日本独自の文化を守
るためにも、武器を取る権利が、矛を持つて

権利がある』と主張された。ここで、自衛隊について話を加えると、これまでには自衛隊の意義について、私は曖昧な考えしか持っていなかったが、先の領土問題ををはじめ、経済や金融活動が正当に行われるなど、日本国の独立性を保つためには、「自衛隊のイージス艦、パトリオットミサイルなど現行装備や、隊員が現在の22万人程度では無理である」と力説された。勿論、これは単なる数の論理を意味するものではないが、今後は自衛隊の現装備の更なる充実や、人の質をあげる、人員を増やすことなどが必要不可欠であり、また、これらを現行の法律が専守防衛（防衛出動）を基本的に考えられており、（他には周辺事態、PKOも可）を変更して、でも、自衛隊が国を積極的に守る存在意義をきちんと国内外に示していく必要性があると感じた。

とは言え、宇都議員は徴兵制については「自衛隊の武器装備が年々に高度化されてお

り、誰しもがこれらを扱えるものではなくな
りつつあり否定する」と話された。私も、徴
兵制には宇都議員同様に否定的な考え方であ
り、モチベーションの低い人間がなつては意
味がなく、現行の学校教育制度においては、
特に「道徳」では予め定められた正解を元に、
個人主義の詰め込み教育であり、愛国心の教
育が薄い状態では、志願制の方が良いからで
ある。
このように、今回の宇都議員のご講義では、
「国の属性」からはじまったが、私たち一人
ひとりが実は国の属性の一部であり、「国
民」として「領土」を守り、「主権」にかかわ
る安全保障や、国防については、身近に感じ、
改めて今後の日本国の発展、存続（20、3
0、50年先）を、単なる国の属性「国民」
に甘んずることなく、真剣に考えるきっかけ
となり、非常に良いものであった。

平成二十五年四月十九日（金）